

印西大師 番外 竹袋・五ノ神堂

- 1 名称 (No.105/211)〔手引鏡：竹袋・此ノ上堂〕〔資料館：竹袋・五の神〕〔行程表：竹袋・五の神堂〕
- 2 場所 印西市竹袋914付近
東大寺から道程約1,420m、オクノ家(鯖大師)から道程約1,510m。県水道局調圧水槽の北、共同墓地、お地蔵さん、銀杏の木がある。
GPS座標 35.83515173710512, 140.16292094258006
- 3 由緒 天台宗
井ノ内作897-1にあり天台宗にして三宝院に所属し、阿弥陀如来を本尊とする。大正初期に消滅した。(平成6年寺院堂庵明細表)
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。
- 5 境内 大きな銀杏の木の下に大師堂がある。北側にお地蔵さん、西側に墓地がある。
- 6 写真 (2022.08、2023.12撮影)



調圧水槽



大師堂



御大師様



大師堂



銀杏と大師堂



お地蔵様



銀杏と共同墓地

7 情報

(1) 五ノ神堂

本尊は弥陀佛是は松本氏の持佛也 作佛に依る 農家の持佛 而応仁年中三寶院の住持此の堂を作らしめ尤其の頃松本三郎左衛門先祖法心にて剃髪いたし此堂を守り 併元禄年中稲葉様御代成候節御帳には書上候得共 地面の儀は三郎左衛門所持にて永々有之候 数度地引等も有之候得共 其論難決寺は不相成 寛政年中三郎左衛門願依て惣村中立合の上論判有之三寶院持に相成候事 (印旛郡誌)

御大師様の台座には、「宗甫新田 願主 黒田 山崎 松本」の名がある。

(2) 五ノ神

明治初期の迅速測図(右図)には、「五神」という文字と、「卍」らしき記号が記載されている。

現地に行ってみると、千葉県企業局の調圧水槽の北にお地藏さんがあり、その前の銀杏の木の下に御堂があった。中に御大師様と思われる石像があったので、これが「五ノ神堂」と思われる。御堂の西側は墓地で、御堂には線香が添えられていた。なお、その少し北に五ノ神社(石神神社)があるが、ここには大師堂はなかった。



(3) 千葉県企業局調圧水槽(上水道用)

五ノ神堂の南に大きな調圧水槽があります。貯水量は1,500m³で、木下取水場から送られてきた水は、ここで、柏井浄水場へ送る導水管1号(柏井系1号)と、北総浄水場へ送る導水管2号(北総系2号)の2方向に分かれるそうです。

(4) 五ノ神社(石神神社)

竹袋の五ノ神台地上に建っている小さな祠が石神様と呼ばれているものです。この祠が現在地に建てられたのは昭和16、17年ころのことですが、過去に2回移転しています。祠内には木製や石製の男根が祀られていて、当時参拝した人の多くは、主に花柳界の女性たちで、下の病によく効くとか、よい旦那に巡り会える



ようにとの願いを込めてお参りをしたといわれています。祠の内外にたくさん奉納されていた木製や石製の男根は、石神様にあやかってひとつふたつと徐々に持ち去られてしまいました。持ち去られたものの中には、天保年間(1830-43)の年号が入っていたものもありました。現在は参拝に訪れる人も少なくなりましたが、地区の人々が1月27日と10月27日に石神様を掃除して供え物をしています。また、石神様は別所宝泉院の境内にも祀られていて、「女オビシャ」の行事に深い関わりをもっています。この「女オビシャ」は、夫婦和合、子孫繁栄、五穀豊穰を祈るもので、庶民の性信仰のひとつです。(「印西名所図会」より)

(5) 平岡八地藏?

Googleマップには、御堂の前のお地藏様を「平岡八地藏」と表示してありますが、「竹袋」にあるのになぜ「平岡」?